

腎不全とその治療法



庄原赤十字病院
人工透析センター
越智 誠



腹膜透析 (PD)

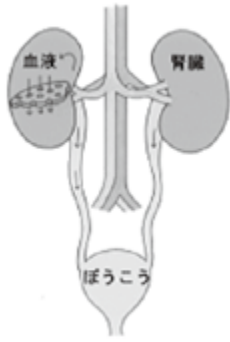
自宅や職場など、社会生活の中で行う在宅治療です。お腹にカテーテルを留置しておき、1日4回程度、透析液のバッグ交換を行います。機械を使って夜間就寝中に、自動的に交換する方法もあります。



腎臓の働き

腎臓はそら豆の形をした臓器で、腰の上あたりに左右1つずつあります。1個の大きさはこぶしより小さく、120〜150gぐらいです。絶えず沢山の血液を送り込まれ、送り出されています。これらの腎臓には、私たちが生きていくために必要な大切な役割があります。

- ① 体内の老廃物や余分な水分を除去する。
- ② 体を弱アルカリ性に保つ。
- ③ 血圧や赤血球の量の調整をする。
- ④ 骨の健康を維持する、などです。



腎不全とは

腎臓の働きが正常の30%以下の状態を腎不全といいますが、原因が何であれ進行性で、不要な老廃物、水分、塩分が排泄されず徐々に体内に蓄積していきます。腎機能が10%以下になるとさまざまな症状があらわれます。一般的な症状は、体がむくむ、血圧が上昇する、はきけや食欲がない、息苦しいなどです。



食事療法について

腎疾患の初期段階から食事療法を行うことにより、腎不全の進行を遅らせることができます。

ます。食事の成分の中で注意深く管理しなければならないのは、たんぱく質、塩分、リン、カリウム、水分です。食事指導の内容は人それぞれ異なりますので、主治医や栄養士が、検査データなどをもとに指導します。



腎不全のための治療法

患者さんの状態や合併症などにより時期は異なりますが、一般的に腎機能が5〜10%に低下すると、腎臓の働きを人工

的に行う透析療法が必要になります。適合する腎臓が提供されれば移植を受けることも可能です。

透析療法

透析とは、血液中の老廃物や余分な水分をろ過し、血液をきれいにすることで血液浄化療法とも呼ばれます。治療法の選択にあたっては、体の状態や生活スタイルについて患者さんと良く相談して決定しています。

血液透析 (HD)

週2〜3回、1回あたり3〜5時間、医療施設で専門スタッフによって行う治療です。



当院では現在、血液透析60人、腹膜透析6人の治療を行っています。全国では496人に1人が透析を受けており、毎年増加しています。透析開始の平均年齢は66歳で、年々高齢化が進んでいます。透析患者さんの原因の第1位は糖尿病で、血糖のコントロールは大事です。腎不全にならないためには、まず、動脈硬化にならないように、血圧のコントロール、血中コレステロール値の管理、禁煙も大切です。備北地区は、人口あたりの透析患者さんの割合が高い地域です。当院でも、腎疾患早期からの治療と、透析療法の充実を、さらに行っていくつもりです。